

第九たいむず



No. 13 2009. 9. 3

● 今年「アイスの日」無しで乗り切った～！・・・のかな？

通刊855 担当 UKAI

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 080-5474-2673 (事務局長 中村)

◆軽井沢合宿へ行こう！！♪今週から申込開始です！！お小遣いのあるうちに手続きを！

日時: 11月14日(土)13:30 ~ 15日(日)16:00まで 濃密な内容の練習がいっぱいです。

場所: 武蔵野音楽大学 軽井沢研修所(申込用紙に地図有り)

参加費: 8,000円 一泊二日3食付 受付の申込用紙に記入の上、参加費を添えてお申込下さい。

締切: 10月8日(木)まで。※それ以降のキャンセルについては原則として返金不可。

内容: パート練習(本番までの最後のパート練習です)+全体合わせ

先生から新しい歌唱技術を教わったり、恒例の猛特訓だったり(苦笑)。

目標: 暗譜！！(合宿の最後に暗譜での全曲フル演奏があります♪ ファイトオ～！)

交通: 自家用車、電車など(車が無い人などは乗り合わせも受け付けています。申込用紙の該当欄にチェックして手続きしてください。)

注意: 防寒対策(朝晩は特に冷えます。合宿に行って風邪ひいた～、のどやられた～、では目も当てられません(>_<) ご注意下さい。)

魅力: ①音楽大学ゆえの整った練習設備

②晩秋～初冬の軽井沢の美しい空気+景観

③初日夜の宴☆(おいしいお酒のみならず、ホールでは隠れリサイタルが?)

④新しい交流(普段はあまり話せないような人たちと交流できるチャンスです)

⑤たくさんの差し入れ(^o^)(ギブ アンド テイクをお願いします☆)

* 11月の受付を2ヶ月も前に?と思われるかもしれませんが、今年はスロヴェニア公演が10月にあるので、色々な準備や手続きが、いつもよりちょっと早くなります。ご協力をよろしくお願いします。

◆近々、チケット・チラシ・ポスター配布

ポスター、チラシ、チケットが出来上がりました。デザインは今年も田村先生が頑張ってください、「第九」の題字はテノール酒井さんです。神秘的で、とてもステキなものです。

チケットのお値段は、昨年と同じ、一般の前売券が3500円、高校生以下が2500円、確保席の料金が1500円です。ノルマはありませんが、素晴らしい第九演奏会をたくさんの人たちに聴いていただき、共に感動を味わいましょう。準備が出来次第、皆さんに配られます。今年はスロヴェニア公演もありますので、色々売り込んでやってください。

◆もう一つ準備するものが・・・

今年はスロヴェニア公演がある関係で、例年より色々な準備が早めにスタートしています。で、皆様個人で準備していただくものがもう一つ、**衣装**です。本番まで約3ヶ月ですが、けっこうアツという間です。詳細はまた連絡が出ますが、新人の方々や新たに用意しなければいけない方々は、こちらもお早めにご対応下さい(装飾関連は未定)。

女声: 白ブラウス、黒スカート、黒革靴 / 男声: 黒礼服、白ワイシャツ、黒蝶ネクタイ、黒革靴

コンサート情報・行事情報

受付のチラシも是非お持ち下さい！

☆第二回中之条ビエンナーレ2009 美術+故郷+温泉 ←ソプラノ桑原かよさんが実行委員です！

2009年8月22日(土)～9月23日(水) 9:30～17:00木曜定休 / 入場無料 (ワークショップ有)

中之条ビエンナーレ公式HP <http://nakanajo-biennale.com>

☆高崎市少年少女合唱団・第24回定期演奏会 ←御招待券あり アルト長島さんまで

2009年9月5日(土)13:30開場 14:00開演 高崎市文化会館 入場料500円全席自由

☆サロンコンサート「ドイツ歌曲とケーキの甘い関係」

2009年9月19日(土) 19:00開演 岩宿博物館 入場料2,000円(入館料、飲み物含む)

シューベルト、シューマン、ブラームス作曲のドイツ歌曲の代表作と、ケーキとコーヒーを楽しめます。

坂本真由美(S)、田村稔(T)、住谷伴(B)、田村聡子(P、田村先生の奥様です。) 第九のHPからリンク中。

☆第4回群馬オペラ協会公演 オペラ「カルメン」 小林薫子さん、太田さん、関口さんが合唱で出演

2009年9月27日(日) 13:30開演 ベイシア文化ホール(群馬県民会館)大ホール

大人自由席5,000円、高校生以下自由席2,000円、座席予約券1,000円

☆オペラ「蝶々夫人」10/9、11 東京文化ホール キャスト:蝶々夫人大山亜紀子他 チケットは洋子先生まで

◆スロヴェニア公演 ソリスト紹介③ 2009年10月28日(水)20時開演

テノール:石原克美(Katsumi Ishihara)



東京音楽大学オペラ科・オペラ研究科首席卒業

在学中より頭角をあらわし、現役学生でありながら一流プロにまじって、ベートヴェン『第九』、グノーの『ミサ・ソレムニス』のソリストをつとめるという異例の抜擢を受け、大変な注目を浴びる。日伊音楽コンクールに入選後、ミラノに留学、グワリーニ氏、フェラーロ氏に師事、研鑽を積み、トレヴィーゾ国際コンクールで入選、同市のテアトロにモーツァルト『コシ・ファン・トゥッテ』のフェランド役で出演。帰国後、『ラ・ボエーム』(ロドルフォ)、『カルメン』(ドン・ホセ)、『魔笛』(タミーノ)、『椿姫』(アルフレード)、『ロメオとジュリエット』(ロメオ)、また二期会40周年記念公演『こうもり』(アルフレード)、『ジャンニ・スキッキ』(リヌッチョ)、などで活躍、好評を博す。

その他に、ヘンデル『メサイヤ』、ヴェルディ『レクイエム』、第九などのコンサートでも活躍している。テレビ朝日の「題名のない音楽会」ほかテレビ出演も多く、若手テノール・リリコ・レジーエロとして最も将来を嘱望されている存在。

1996年7月にはファーストリサイタルを津田ホールにて開催、1997年には東京音楽大学創立90周年記念オペラ『ラ・ボエーム』(ロドルフォ)に出演、1999年、2000年と続けて紀尾井ホールで開催されたりサイタルでも、2003年の浜離宮朝日ホールで開催されたソプラノとのジョイントリサイタルでも、日本人離れした豊かな声量と柔らかな美声で、満員の聴衆を魅了した。その類稀な声質は、むしろ海外の専門家たちから驚きと賛嘆をもって評価されている。

前イタリア大使にも絶賛され、イタリア大使館にて各国大使をはじめ各界を代表する方々の前で歌い、他にもフィンランド、ロシア、ルクセンブルグ、スウェーデン、サウジアラビア、メキシコ、スロヴェニア、タイ、ベルギー等の大使に招かれ、それぞれの大使館において、その美しい歌声を披露した。また、美智子皇后様のご臨席を賜った折に、アリアをご拝聴いただき、皇后様のピアノ伴奏でうたわせていただくという栄誉も賜った。

2001年、02年の春には、沖縄市音楽祭のオペラに、当たり役でもある『ラ・ボエーム』(ロドルフォ)、『椿姫』(アルフレード)役で参加、沖縄市民の心に多大の感銘を残した。また、ベルギー大使館で催されたチャリティーコンサートや日本 YMCA 主催のオーストラリア大使館でのチャリティーコンサート等にも、依頼を受け参している。最近では、2006年、07年のライスボウルの開会式で「君が代」を歌い、07年の川崎で開催されたアメリカンフットボールワールドカップでは、日本を代表して国歌を独唱した。

現在、東京音楽大学講師。日伊協会会員。

草津音楽祭 コンサート編(その1)

【ソプラノ 小林薫子】

8月23日に、私が出演した合唱とオーケストラのコンサートが、草津音楽の森国際コンサートホールで行われました。前にも書いた通り、合唱曲は、W.A.モーツァルト:ミサ曲ハ短調 K.427(417a)でした。演奏は、ソプラノ:天羽明恵さん、メゾ・ソプラノ:日野妙果さん、テノール:小貫岩夫さん、バス:太田直樹さん、指揮:イェルク・エーヴァルト・デーラーさん、合唱:草津アカデミー合唱団(合唱指揮:栗山文昭さん)、オーケストラ:草津フェスティバル・オーケストラでした。今回の曲は、全曲は完成されず、キリエ、グロリア、クレドの一部、サンクトゥス、ベネディクトゥスのみが残された作品です。通常のミサの典礼文に従えば、80分を超える「大ミサ曲」が書き進められていたようですが、このように未完成だったため、演奏時間は約1時間くらいでした。それから、この曲は、合唱とソリストと一緒に歌う部分が少ないため、ソロをじっくり聴ける部分があるので、よかったです。この日のために、合唱団は20日から練習が始まり、この日は午後と夜の練習で、合唱団のみの練習でした。今年も歌詞がドイツ語読みだったため、やはりウムラウトが重視されていたように思えました。

2日目は、まず、午前に練習があり、合唱団のみの練習(本番の指揮者による練習で日本語通訳付き)となりました。そして、午後はパート練習を2時間程度行い、夜は練習がなかったので、アーティストクラブ(受講生、アシスタント、友の会などの方たちの交流の場)に行ってきました。初めての参加でしたが、普段あまりお話したことのない方ともお話ができ、楽しい時間を過ごすことができました。(つづく)